

金属丸棒からプレスによる3次元一体成形を実現



製品・技術の
名称

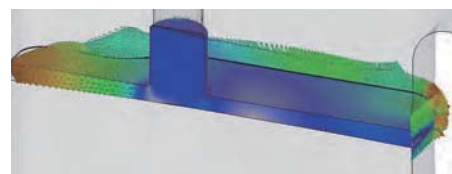
車載電池用端子部品の プレス一体化加工技術

【概要】

本技術は、断面円形のワイヤを切断して丸棒材を作製し、当該丸棒材の側面に端面がD形となるようにフラット面を形成して、丸棒材から潰し加工により突出部を有する三次元形状の電池用端子部品を一体的に成形する技術です。

従来は、各々加工された部品を溶接等によって組立てていますが、走行中に振動等の外力にさらされる場合、接合部の強度低下が懸念されます。

本技術により製作した端子部品は、丸棒材から「押し下げながら裾を上げていく」潰し加工により2点で構成される部品を一体化するため（三次元一体成形）、こうしたリスクを排除し端子部品の信頼性が高まります。



CAE解析図 濃淡で速度差を表現

（赤：材料がよく流動している）
（青：材料が静止している）

ここが ポイント！

世界的に拡大してるハイブリッド車ならびに電気自動車市場において、本プレス一体化加工技術により製作される端子部品は自動車用電池に欠かせない部品。

【参考価格】

お客様の要望に応じて対応させていただくため要相談

【企業PROFILE】



日伸工業株式会社

代表取締役社長：清水 貴之

滋賀県大津市月輪 1-1-1

Tel : 077-543-2467 / Fax : 077-543-2451

<http://www.nissinjpn.co.jp/>

企業からの一言 / PR ポイント

金属丸棒材を用いるプレス一体化加工技術は、戦略的基盤技術高度化支援事業の成果を活用するもので、素材流動が板材と異なるため、端子部品以外の分野の部品でも強度をはじめとする性能向上に大いに寄与すると考えます。